

「聖火リレー」は中止になりました。

東京2020オリンピック聖火リレー Hope Lights Our Way

希望の道を、つなごう。

問合せ スポーツ推進課 (☎462-2000)



昭和39(1964)年、市内を走る聖火リレーのようす
(歴史館いずみさの所蔵)

東京2020聖火リレーのコンセプトは、「Hope Lights Our Way (英語) / 希望の道を、つなごう。(日本語)」。支えあい、認め合い、高めあう心でつなぐ聖火の光が、新しい時代の日の出となり、人々に希望の道を照らし出します。

3月12日にギリシャで採火された聖火が、3月26日の福島県を皮切りに、121日間をかけて日本全国を巡ります。約1万人のランナーが聖火をつなぎ、7月24日、国立競技場で行われる開会式において、聖火台に点火され、大会終了まで燃え続けます。

大阪府では、4月14日(火)・15日(水)の2日間にわたる18の市町において聖火リレーが実施され、泉佐野市は2日目の出発地点となります。



西村 成生さん (70歳)

1964年に開催された東京オリンピックの時、伴走者として走らせていただきました。古希(70歳)を迎えるにあたり、30年以上携わったトランポリン教室の3,000人以上の卒業生に雄姿を見せたいと思います。

梶野 貴司さん (44歳)

聖火をつなぐという大役に選ばれて、大変光栄に思っております。地元、泉佐野市を走れるという貴重な経験は、かけがえのないものになると思います。4月15日は、みなさんの思いをつなぎたいと思います。



東谷 小百合さん (15歳)

今回、こんなすごい経験ができてすごくうれしいです。けど、こんなチャンスをつかむきっかけになったのも、お母さんやボランティアに誘ってくれた友達のおかげなので、感謝しながら元気に走りたいと思います。



私たちが聖火をつなぎます



大阪府が行った公募で泉佐野市区間を走る聖火ランナーに選ばれた、市内在住の3人のみなさんに感想を伺いました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、聖火リレーやセレモニーなどが中止・変更となる場合がありますので、必ず市ホームページをご覧ください。

※掲載の情報は3月13日現在です。

聖火ランナーが泉佐野市を駆け抜ける！

日時 4月15日(水)

●スタート（りんくうアイスパーク）
…午前9時4分

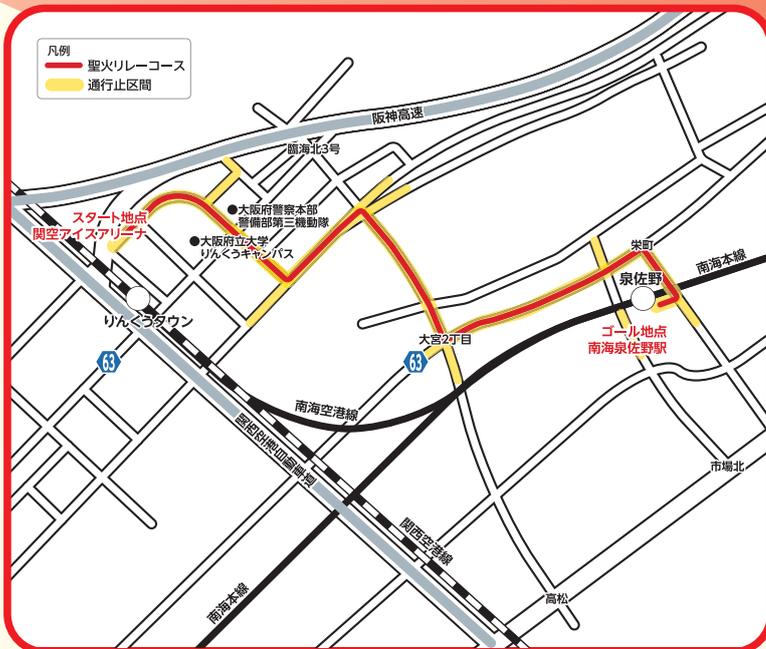
●ゴール（泉佐野駅前ロータリー）
…午前9時38分

※時間は前後することがあります。パートナー車など伴走車の隊列は、ランナーの約10～15分前にコースを通過します。

本市の聖火リレールートは、出発会場となるりんくうアイスパークをスタートし、府立大学りんくうキャンパス前、りんくう物流センター前など、りんくうタウン内を走行した後、りんくう笠松北緑地内の交差点から旧市街地へ入ります。そして、心明館前を通り抜け、大西2丁目交差点を左折し、府道堺阪南線を走行します。若宮町交差点、泉佐野駅下り交差点などを駆け抜けたのち、栄町交差点で右折し、南海本線高架橋をくぐり抜け、ゴールの泉佐野駅前ロータリーに至るコースとなります。

ランナー1人が走る距離は約200mで、全走行距離は約2,700mとなります。各ランナーはトーチキスポイント（聖火受け渡し場所）において、次のランナーに聖火を引き継ぎます。

ゴールの泉佐野駅前ロータリーに最終ランナーが到着した後、聖火は専用のランタンに格納され、次の通過都市である貝塚市へ移動します。



「聖火リレー」は中止になりました。

交通規制を実施します

当日は午前8時30分頃～10時頃に大規模な交通規制が行われます。ルート周辺にお住まいの方や事業所のみなさまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

※聖火リレー開催に伴うコミュニティバスの運休については、10ページをご覧ください。

1日の出発地点となる通過都市では、聖火の出発を祝う「出発式」が行われる予定です。本市では、本市スポーツ大使の大山加奈さんによる司会や、地元大阪を愛する「ET-KING」のみなさんによる演奏で盛り上げていただく予定です。

出発セレモニーは、ステージ上に設置された高さ約1.5m、桜ゴールドに輝く聖火皿に聖火が点火されたのち、第1走者のランナーが持つトーチに聖火が移され、リレーがスタートします。

【出発式】 日時 4月15日(水)
午前8時30分～（開場：午前8時）

場所 りんくうアイスパーク

※中止・変更となる場合があります。



▲大山加奈さん

◀ET-KINGの
みなさん